



令和5年9月5日
独立行政法人国立科学博物館

2023(令和5)年度 国立科学博物館 「重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)」 20件の登録について

独立行政法人 国立科学博物館(館長:篠田 謙一)は、2008(平成20)年度から重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)の登録を実施しています(別紙)。

本年度は、あらたに、世界初の屋外用カラー大型表示用光源管や、世界で初めて人工的に雪の結晶の製作に成功した研究室資料など20件を登録することとなりました。今回(第16回)の登録により合計363件の登録となります。

また、資料の所有者をお招きした登録証授与式とパネル展示も開催いたします。

つきましては、下記広報について、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

■「重要科学技術史資料」 別紙一覧の20件

■「重要科学技術史資料」登録証及び記念盾授与式

期 日 令和5年9月12日(火)

会 場 国立科学博物館 日本館2階 講堂(東京都台東区上野公園 7-20)

* 式は関係者のみ(参考:開式14:00 - 閉式14:30)

■未来技術遺産・パネル展示

期 日 令和5年9月12日(火)~9月24日(日)

会 場 国立科学博物館 日本館1階 中央ホール

* 通常入館料(一般・大学生630円。高校生以下および65歳以上は無料)が必要です。

最新の情報はwebサイト(<https://www.kahaku.go.jp/>)でご確認ください。

* 登録資料のデジタル写真をご希望の方は、使用目的等お書き添えの上、e-mail またはお問い合わせフォームからご連絡ください。(10月末まで提供可能)

本件についての問合せ

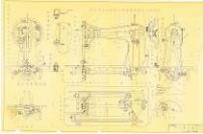
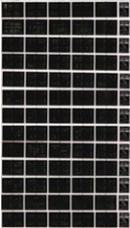
独立行政法人 国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 担当:亀井・菊地
〒305-0005 つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館 筑波研究施設内 産業技術史資料情報センター
e-mail sts2006@kahaku.go.jp

tel. 029-853-8394 (代表)

関係の情報やお問い合わせフォームは、<https://sts.kahaku.go.jp/> からご覧いただけます。



重要科学技術史資料 一覧

番号	写真例	名称	所有者	製作年
第 00344 号		パインマシン 100種30型 — 国産ミシンの先駆け —	株式会社 ジャノメ	1935頃
第 00345 号	(1)  (2)  (3) 	【 昭和27年再版 HA1型ミシン標準図面 】 (1) 青焼き図面 (2) 複写フィルム (3) 複写紙焼き図面 — ミシン工業界全体の戦後復興・飛躍のきっかけ —	ブラザー工業 株式会社	1952
第 00346 号	 説明書 	HA-1型家庭用ミシン — 戦後ミシン業界の新たなスタートとなったHA-1型の代表例 —	JUKI テクノ ソリューションズ 株式会社	1960
第 00347 号		単軸回転天秤機構搭載 DDW-12型 (DDW-II型後継機種) — 日本の工業用ミシン発展の礎 —	JUKI 株式会社	1962～ 1964頃
第 00348 号		オーバーロック MS-1型 — 日本独自の小型ロックミシン —	株式会社 鈴木製作所	1966～ 1967頃



番号	写真例	名称	所有者	製作年
第 00349 号		ベビーロック EF-205 — 家庭用ロックミシンの先駆け —	株式会社 ベビーロック	1967
第 00350 号	(1)  (2)  (3)  (4) 	【 世界で初めて人工的に雪の結晶の製作に成功した研究室資料 】 (1) 北海道帝国大学常時低温研究室規程施行細則 (2) 二重ガラス管（復元） (3) ウサギの腹毛 (4) 雪の結晶のレプリカ — 世界の雪・氷工学の原点 —	北海道大学 低温科学 研究所	(1) 1936 (2) 1992 頃 (3) 不明 (4) 1954 頃
第 00351 号		丸型ガラス単桁蛍光表示管（試作品） — 日本独創の表示デバイスを世界へ —	ノリタケ 伊勢電子 株式会社	1966
第 00352 号		第一世代オーロラビジョン用 CRT 光源管試作品 — 世界初の屋外用カラー大型映像表示実用化を実証 —	三菱電機 株式会社	1979 1983 (三色光源管)

